

C03C ガラス，うわ薬またはガラス質ほうろうの化学組成；ガラスの表面処理；ガラス，鉱物またはスラグ製の繊維またはフィラメントの表面処理；ガラスのガラスまたは他物質への接着

サブクラス内の索引

化学組成

ガラス	1/00, 3/00, 4/00, 6/00, 10/00-12/00
うわ薬, ガラス質ほうろう	1/00, 8/00
失透ガラス-セラミック	10/00
繊維またはフィラメント	13/00
一つの非ガラス成分を含有するガラス	14/00
表面処理	
表面への拡散によるもの	21/00
被覆によるもの	17/00
他の処理	15/00, 19/00, 23/00
繊維またはフィラメントの	25/00
接着	27/00, 29/00
特殊構造のガラス	10/00-12/00, 14/00

ガラス，うわ薬またはガラス質ほうろうの化学組成

注
グループ C 0 3 C 1 / 0 0 ~ C 0 3 C 1 4 / 0 0 においてはラストプレイス優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り，最後の適切な箇所に分類する。[4]

- 1/00 ガラス，うわ薬またはガラス質ほうろうの製造に一般的に適用される原料
- 1/02 ・ 予備処理された原料
- 1/04 ・ 乳白剤，例．ふっ化物またはりん酸塩；顔料
- 1/06 ・ ・不均一に色づけられた，例．はん点状，大理石状または不理相状，製品の製造用原料
- 1/08 ・ ひびわれ効果を生じるための原料
- 1/10 ・ 均一に着色された透明品の製造用原料
- 3/00 ガラスの組成物（ガラスのバッチ組成物 C 0 3 C 6 / 0 0）[4]
- 3/04 ・ シリカを含むもの [4]

注

もしシリカが 3 / 0 6，3 / 0 6 2 または 3 / 0 7 6 のグループの中の二つのグループによりカバーされるパーセント範囲で存在するものとして特定されるなら，そのグループの両方に分類する。もしその範囲が 3 つのグループによってカバーされるなら，グループ 3 / 0 4 に分類する。[4]

- 3/06 ・ ・重量比 9 0 % より多くシリカを有するもの，例．石英
- 3/062 ・ ・重量比 4 0 % 未満のシリカを有するもの [4]
- 3/064 ・ ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/066 ・ ・ ・ ・亜鉛を含むもの [4]
- 3/068 ・ ・ ・ ・希土類を含むもの [4]

- 3/07 ・ ・ ・鉛を含むもの [4]
- 3/072 ・ ・ ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/074 ・ ・ ・ ・ ・亜鉛を含むもの [4]
- 3/076 ・ ・重量比で 4 0 % から 9 0 % シリカを有するもの [4]
- 3/078 ・ ・ ・二価金属の酸化物，例．亜鉛の酸化物，を含むもの [4]
- 3/083 ・ ・ ・酸化アルミニウムまたは鉄化合物を含むもの [4]
- 3/085 ・ ・ ・ ・二価金属の酸化物を含むもの [4]
- 3/087 ・ ・ ・ ・ ・酸化カルシウムを含むもの，例．通常の板ガラスまたは容器ガラス [4]
- 3/089 ・ ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/091 ・ ・ ・ ・アルミニウムを含むもの [4]
- 3/093 ・ ・ ・ ・ ・亜鉛またはジルコニウムを含むもの [4]
- 3/095 ・ ・ ・希土類を含むもの [4]
- 3/097 ・ ・ ・りん，ニオブまたはタンタルを含むもの [4]
- 3/102 ・ ・ ・鉛を含むもの [4]
- 3/105 ・ ・ ・ ・アルミニウムを含むもの [4]
- 3/108 ・ ・ ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/11 ・ ・ ・ハロゲンまたは窒素を含むもの [4]
- 3/112 ・ ・ ・ ・ふっ素を含むもの [4]
- 3/115 ・ ・ ・ ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/118 ・ ・ ・ ・ ・ ・アルミニウムを含むもの [4]
- 3/12 ・ シリカを含まない酸化物ガラス組成物 [4]
- 3/14 ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/145 ・ ・ ・アルミニウムまたはベリリウムを含むもの [4]
- 3/15 ・ ・ ・希土類を含むもの [4]
- 3/155 ・ ・ ・ ・ジルコニウム，チタン，タンタルまたはニオブを含むもの [4]
- 3/16 ・ ・りんを含むもの [4]
- 3/17 ・ ・ ・アルミニウムまたはベリリウムを含むもの [4]
- 3/19 ・ ・ ・ほう素を含むもの [4]
- 3/21 ・ ・ ・チタン，ジルコニウム，バナジウム，タングステンまたはモリブデンを含むもの [4]
- 3/23 ・ ・ハロゲンおよび少くとも一つの酸化物，例．ほう素の酸化物，を含むもの [4]
- 3/247 ・ ・ ・ ・ふっ素およびりんを含むもの [4]
- 3/253 ・ ・ゲルマニウムを含むもの [4]
- 3/32 ・ 非酸化物ガラス組成物，例．ゲルマニウム，セレンまたはテルルの二元または三元ハロゲン化物，硫化物または窒化物 [4]
- 4/00 特殊性質をもつガラス用組成物 [4]

注

グループ 4 / 0 0 中に分類するとき，ガラス組成に従ってグループ 3 / 0 0 中の適当なサブグループにも分類する。[4]

C 0 3 C

- 4/02 ・着色ガラス用〔4〕
- 4/04 ・感光性ガラス用〔4〕
- 4/06 ・・ホトトロピックまたはホトクロミックガラス用〔4〕
- 4/08 ・特定波長の放射線を選択的に吸収するガラス用〔4〕
- 4/10 ・赤外線透過ガラス用〔4〕
- 4/12 ・発光ガラス用；けい光ガラス用〔4〕
- 4/14 ・導電性ガラス用〔4〕
- 4/16 ・誘電性ガラス用〔4〕
- 4/18 ・イオン感応性ガラス用〔4〕
- 4/20 ・耐薬品性ガラス用〔4〕
- 6/00 **ガラスバッチ組成物**（バッチ組成物の単一成分C 0 3 C 1 / 0 0）〔4〕

注

このグループは、その成分が十分加熱されることによって融解してガラス化される組成物、例．ガラス炉保護材を含む。〔4〕

- 6/02 ・けい酸塩を含むもの、例．カレット〔4〕
- 6/04 ・遊離のシリカを含むもの、例．砂〔4〕
- 6/06 ・ハロゲン化合物を含むもの〔4〕
- 6/08 ・ペレットまたは集塊を含むもの〔4〕
- 6/10 ・スラグを含むもの〔4〕
- 8/00 **ほうろう；うわ薬**（セラミックス用冷うわ薬C 0 4 B 4 1 / 8 6）；**非フリット添加物をもつフリット組成物である熔融封止剤組成物**〔4〕
- 8/02 ・フリット組成物、つまり粉末化または粉碎された形にあるもの〔4〕
- 8/04 ・・亜鉛を含むもの〔4〕
- 8/06 ・・ハロゲンを含むもの〔4〕
- 8/08 ・・りんを含むもの〔4〕
- 8/10 ・・鉛を含むもの〔4〕
- 8/12 ・・・チタンまたはジルコニウムを含むものの〔4〕
- 8/14 ・非フリット添加物をもつガラスフリット混合物、例．乳白剤、着色剤、ミル添加物〔4〕
- 8/16 ・・ビヒクルまたは懸濁化剤をもつもの、例．スリップ〔4〕
- 8/18 ・・遊離金属を含むもの〔4〕
- 8/20 ・・チタン化合物を含むもの；ジルコニウム化合物を含むもの〔4〕
- 8/22 ・異なる組成をもつ二つ以上の異ったフリットを含むもの〔4〕
- 8/24 ・非フリット添加物をもつフリット組成である熔融封止剤組成物、すなわち、異種材料、例．ガラスおよび金属、の間のシールとして用いるためのもの；ガラスはんだ〔4〕
- 10/00 **失透ガラス—セラミックス**、すなわち、ガラス相内に分散され、全組成の少なくとも5 0 重量%を構成する結晶相をもつガラスセラミックス〔4〕

- 10/02 ・無シリカおよび無けい酸塩結晶相、例．スピネル、チタン酸バリウム〔4〕
- 10/04 ・けい酸塩または多けい酸塩結晶相、例．ムライト、透輝石、チタン石、斜長石〔4〕
- 10/06 ・・二価金属酸化物アルミノけい酸塩結晶相、例．灰長石、スラグセラム〔4〕
- 10/08 ・・・マグネシウムアルミノけい酸塩、例．堇青石〔4〕
- 10/10 ・・アルカリ金属アルミノけい酸塩結晶相〔4〕
- 10/12 ・・・リチウムアルミノけい酸塩、例．スポジュメン、ユークリプタイト〔4〕
- 10/14 ・シリカ結晶相、例．マタッフドクォーツ、クリストバライト〔4〕
- 10/16 ・ハロゲン含有結晶相〔4〕
- 11/00 **あわガラス**
- 12/00 **粉末ガラス**（C 0 3 C 8 / 0 2 が優先）；**ビード組成物**〔4〕
- 12/02 ・反射性ビーズ〔4〕
- 13/00 **繊維またはフィラメント組成物**（繊維またはフィラメントの製造C 0 3 B 3 7 / 0 0）
- 13/02 ・チタンまたはジルコニウムの化合物を含むもの〔4〕
- 13/04 ・光ファイバー、例．コアおよびクラッド繊維組成物〔4〕
- 13/06 ・鉱物繊維、例．スラグウール、ミネラルウール、ロックウール〔4〕
- 14/00 **一つの高ガラス成分を含有するガラス組成物**、例．ガラスマトリックス内に分散された繊維、フィラメント、ウィスカ、小薄板または類似のものを含む組成物（ガラスバッチ組成物C 0 3 C 6 / 0 0；失透したガラス—セラミックスC 0 3 C 1 0 / 0 0）〔4〕

ガラスの表面処理；ガラス、鉱物またはスラグ製の繊維またはフィラメントの表面処理

注

モルタル、コンクリート、または人造石の充填特性を向上させるのに特に適合する処理はこのグループに包含されず、サブクラスC 0 4 Bに包含される。

- 15/00 **繊維やフィラメントの形態をとらないガラスの、エッチングによる表面処理**〔2〕
- 15/02 ・なめらかな表面を作るためのもの
- 17/00 **繊維やフィラメントの形態をとらないガラス**、例．結晶化ガラス、の被覆による表面処理
- 17/02 ・ガラスによるもの（C 0 3 C 1 7 / 3 4，C 0 3 C 1 7 / 4 4 が優先）〔3〕
- 17/04 ・・ガラス粉末を撒布、焼結することによる
- 17/06 ・金属によるもの（C 0 3 C 1 7 / 3 4，

- C 0 3 C 1 7 / 4 4 が優先) [3]
- 17/09 ・ ・ 蒸気相からの析出によるもの [3]
- 17/10 ・ ・ 液相からの析出によるもの
- 17/22 ・ 他は無機物によるもの (C 0 3 C 1 7 / 3 4, C 0 3 C 1 7 / 4 4 が優先) [3]
- 17/23 ・ ・ 酸化物 (C 0 3 C 1 7 / 0 2 が優先) [3]
- 17/245 ・ ・ ・ 蒸気相からの析出によるもの [3]
- 17/25 ・ ・ ・ 液相からの析出によるもの [3]
- 17/27 ・ ・ ・ 前に行った被覆の酸化によるもの [3]
- 17/28 ・ 有機物質によるもの (C 0 3 C 1 7 / 3 4, C 0 3 C 1 7 / 4 4 が優先) [3]
- 17/30 ・ ・ けい素含有化合物によるもの
- 17/32 ・ ・ 合成または天然樹脂によるもの (C 0 3 C 1 7 / 3 0 が優先)
- 17/34 ・ 組成の異なる少くとも 2 種の被覆を有するもの (C 0 3 C 1 7 / 4 4 が優先) [3]
- 17/36 ・ ・ 少くとも 1 つの被覆が金属であるもの [3]
- 17/38 ・ ・ ・ 少くとも 1 つの被覆が有機物質の被覆であるもの [3]
- 17/40 ・ ・ ・ すべての被覆が金属被覆であるもの [3]
- 17/42 ・ ・ 少くとも 1 つが有機物質の被覆でありかつ少くとも 1 つが非金属被覆であるもの [3]
- 17/44 ・ ラスターがけ [3]
- 19/00 繊維やフィラメントの形態をとらないガラスの、機械的手段による表面処理 (ガラスのサンドブラスト、荒けずりまたはつや出し B 2 4)
- 21/00 繊維やフィラメントの形態をとらないガラスの、表面にイオンまたは金属を拡散することによる表面処理
- 23/00 繊維やフィラメントの形態をとらない繊維以外のガラスのその他の表面処理
- 25/00 ガラス、鉍石またはスラグ製の繊維またはフィラメントの表面処理 [2 0 1 8. 0 1]

注

1. グループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 8 においては、ラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、最後の適切な場所に分類する。

2. 被覆組成物、即ち 2 以上の成分の混合物は、これらの成分のうち少なくとも 1 つを規定しているグループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 2 のうち最後のグループに分類される。

3. グループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 2 に分類する場合、被覆組成物の個々の構成成分であって、注 (2) による分類では特定されず、それ自体が新規かつ非自明であると

判断されたものについても、グループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 2 の最後の適切な箇所にも分類しなければならない。

4. グループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 2 に分類する場合、被覆組成物の個々の構成成分であって、注 (2) または (3) による分類では特定されず、かつ、検索に重要な情報であると思われるものについても、グループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 2 にも分類することができる。これは、例えば分類記号の組合わせを用いて被覆組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。このような非義務的分類は、“付加情報”として表示すべきである。

5. グループ C 0 3 C 2 5 / 1 0 2 5 ~ C 0 3 C 2 5 / 1 0 9 5 に分類する場合、被覆組成物は、注 (1) ~ (4) に従いグループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 5 4 の 1 以上のグループにも分類されなければならない。

6. グループ C 0 3 C 2 5 / 4 8 に分類する場合、それ自体が新規かつ非自明であると決定される個々の被覆は注 (1) ~ (4) に従いグループ C 0 3 C 2 5 / 2 4 ~ C 0 3 C 2 5 / 4 2 にも分類されなければならない。

- 25/002 ・ 熱処理 [2 0 1 8. 0 1]
- 25/005 ・ 機械的手段によるもの [2 0 1 8. 0 1]
- 25/007 ・ 溶液による含浸；溶液ドーピングまたは多孔質ガラスの分子充填 [2 0 1 8. 0 1]
- 25/10 ・ 被覆 [2 0 1 8. 0 1]
- 25/1025 ・ ・ セメントをベースにした強化製品に用いられる繊維を得るためのもの [2 0 1 8. 0 1]
- 25/104 ・ ・ 光ファイバーを得るためのもの [2 0 1 8. 0 1]
- 25/105 ・ ・ ・ 有機クラッド [2 0 1 8. 0 1]
- 25/106 ・ ・ ・ 単一被覆 [2 0 1 8. 0 1]
- 25/1065 ・ ・ ・ 多層被覆 [2 0 1 8. 0 1]
- 25/1095 ・ ・ 被覆布を得るためのもの [2 0 1 8. 0 1]
- 25/12 ・ ・ 被覆の一般的な方法；そのための装置 [7]
- 25/14 ・ ・ ・ 吹き付け [2 0 1 8. 0 1]
- 25/143 ・ ・ ・ 連続繊維に対するもの [2 0 1 8. 0 1]
- 25/146 ・ ・ ・ ・ ガス媒体中に懸濁した繊維上に対するもの [2 0 1 8. 0 1]
- 25/16 ・ ・ ・ 浸液 [7]
- 25/18 ・ ・ ・ 押出 [7]
- 25/20 ・ ・ ・ 繊維をアプリケーション、例. ロール、に接触させるもの [7]
- 25/22 ・ ・ ・ 蒸着 [2 0 1 8. 0 1]
- 25/223 ・ ・ ・ ・ 化学蒸着または熱分解によるもの

	[2018. 01]		上の被覆との組み合わせ [7]
25/226	・・・・スパッタリングによるもの [2018. 01]	25/60	・表面にイオンまたは金属を拡散することによるもの [2018. 01]
25/24	・・有機材料を含有する被覆 [2018. 01]	25/601	・・液体相中で, 例. 溶液または熔融塩を用いるもの [2018. 01]
25/25	・・・・非高分子化合物 [2018. 01]	25/602	・・・・アルカリイオン間でイオン交換を行うためのもの (C03C25/605が優先) [2018. 01]
25/255	・・・・油, ワックス, 脂肪またはその誘導体 [2018. 01]	25/603	・・・・電位差によるもの [2018. 01]
25/26	・・・・高分子化合物またはプレポリマー [2018. 01]	25/605	・・・・金属または金属イオン, 例. 銀または銅, をガラスに導入するためのもの [2018. 01]
25/27	・・・・ゴムラテックス [2018. 01]	25/607	・・ガス相中で [2018. 01]
25/28	・・・・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られるもの [2018. 01]	25/608	・・固相中で, 例. ペーストまたは粉体を用いるもの [2018. 01]
25/285	・・・・アクリル樹脂 [2018. 01]	25/62	・電気または波エネルギーの適用によるもの (乾燥または脱水用 C03C25/64); 粒子放射線またはイオン注入によるもの [2018. 01]
25/30	・・・・ポリオレフィン [2018. 01]	25/6206	・・電磁波 [2018. 01]
25/305	・・・・ポリフルオロオレフィン [2018. 01]	25/6208	・・・・レーザー [2018. 01]
25/32	・・・・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外から得られるもの [2018. 01]	25/621	・・・・マイクロ波 [2018. 01]
25/321	・・・・でんぷん; でんぷん誘導体 [2018. 01]	25/6213	・・・・赤外線 [2018. 01]
25/323	・・・・ポリエステル, 例. アルキド樹脂 [2018. 01]	25/622	・・・・可視光 [2018. 01]
25/325	・・・・ポリカーボネート [2018. 01]	25/6226	・・・・紫外線 [2018. 01]
25/326	・・・・ポリ尿素; ポリウレタン [2018. 01]	25/624	・・・・X線 [2018. 01]
25/328	・・・・ポリアミド [2018. 01]	25/6246	・・・・ガンマ線 [2018. 01]
25/34	・・・・アルデヒド縮合重合体, 例. フェノール, 尿素, メラミン, アミド, またはアミンとの [7]	25/626	・・粒子放射線またはイオン注入 [2018. 01]
25/36	・・・・エポキシ樹脂 [7]	25/6266	・・・・電子, 陽子またはアルファ粒子 [2018. 01]
25/38	・・・・有機金属化合物 [7]	25/6273	・・・・中性子 [2018. 01]
25/40	・・・・有機ケイ素化合物 [7]	25/628	・・・・原子 [2018. 01]
25/42	・・無機物質を含有する被覆 [7]	25/6286	・・・・イオン注入 [2018. 01]
25/44	・・・・炭素, 例. グラファイト [7]	25/6293	・・プラズマまたはコロナ放電 [2018. 01]
25/46	・・・・金属 [7]	25/64	・乾燥, 脱水, 脱水酸基 [7]
25/465	・・複合材料を含有する被覆 [2018. 01]	25/66	・化学処理, 例. 濾過, 酸またはアルカリによる処理 (脱水酸基 C03C25/64) [7]
25/47	・・・・粒子, 繊維またはフレークを含有するもの, 例. 連続相中で [2018. 01]	25/68	・・エッチングによるもの [7]
25/475	・・・・着色成分を含有するもの [2018. 01]	25/70	・クリーニング, 例. 再利用のため (C03C25/62~C03C25/66が優先) [7]
25/48	・・異なる組成物で構成される二つ以上の被覆を有する [7]	ガラスのガラスへのまたは他の材料への接着	
25/50	・・・・有機物質のみを含有する被覆 [7]	注	
25/52	・・・・無機物質のみを含有する被覆 [7]	グループ27/00または29/00に分類される積層体はB32Bにも分類される。	
25/54	・・・・有機物質のみを含有する一つ以上の被覆と, 無機物質のみを含有する一つ以	27/00	ガラスの他の無機物質への接着; 融着以外によるガラスのガラスへの接着 (C03C17/00が優先; 熔融封止物組成物 C03C8/24; 網入りガラス C03B; ガ

- ラスのセラミックへの接着 C 0 4)
- 27/02 ・ ガラスの金属への直接融着によるもの
 - 27/04 ・ 中間層によるガラスの金属への接着
 - 27/06 ・ 融着以外の方法によるガラスのガラスへの接着
 - 27/08 ・ ・ 介在金属を用いることによるもの
 - 27/10 ・ ・ 目的に特に適する接着物によるもの
 - 27/12 ・ ・ ・ 合わせガラス（その一部がプラスチック材からなる合わせガラスの製造における機械的特徴 B 3 2 B）
- 29/00 ガラスによる金属の接着